



越生町男女共同参画情報紙

ハンド&ハンド 第33号

男女共同参画社会の実現

男性も女性も「性別」にとらわれることなく、個人としてその個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」。この社会の実現のための様々な取り組みにより、男女共同参画社会という言葉や考え方は広く浸透してきています。ですがまだ、男女共同参画社会が実現したとは言えないのが現状です。

社会問題と男女共同参画

少子高齢化が進む現在、将来の労働力人口の減少が予想されていて、これが大きな問題となっています。この課題の解決策の一つとして考えられているのが女性の社会進出。男性でも女性でも、性別に関係なく社会で活躍することが求められています。だれもが活躍できる社会の実現のためにも「男女共同参画の考え方」を職場や家庭などに浸透させていく必要があります。

越生町の活躍する女性

今月は「越生町の活躍している女性」をテーマにしました。皆さんもこれを見て、男女共同参画社会について考えてみましょう。

玉川温泉の女性支配人 新井志野さん



私は、5年前に温泉道場の玉川温泉でパートとして働き始めました。温泉施設で働くのはここが初めてだったので分らないことばかりでしたが、現場スタッフとして様々なことを経験し、現在は支配人として働いています。女性の感性と現場での知識を活かした働き方ができていることが私らしいのかなと思います。

女性ならではの苦勞

私が女性として働いてきた中で大変だったのはクレームの対応ですね。女性スタッフでは対応しきれないお客様でも、男性スタッフが出るとすぐに収まるケースがあります。こんな時は男性のありがたさを感じます。同時に、女性支配人として働く以上、乗り越えるべき課題として捉えないといけないとも思っています。

私は、数字や戦略を考えるのが苦手なので、支配人としての仕事は大変なこともたくさんありますが、一緒に働くスタッフの力も借りながら頑張っています。

女性支配人・先輩として

玉川温泉は、窓口はもちろん、夜間清掃や厨房でも女性が活躍しているの、私としては、女性スタッフならではの悩みや不満等を

くみ取って改善していければ良いなと思います。

これからは、温泉道場で働く若手社員の道しるべになれるように頑張っていきたいと思っています。

店舗ごとのコンセプト

温泉道場は、店舗ごとにコンセプトが異なり、玉川温泉は「昭和30年代」というコンセプトで運営しています。温泉道場が経営する越生町のゆうパークおごせも今後、施設の特徴を生かした魅力ある温泉にしていく予定です。

店舗ごとの特徴を比べてみるのも温泉道場の一つの楽しみ方だと思うので、ゆうパークおごせはもちろん、当館もぜひお気軽にご利用ください。

